

2009 年度受託研究概要報告

# 障害者施設等と大学との連携による 「ものづくりメッセ」への支援

## 研究メンバー

見寺貞子	デザイン学部ファッションデザイン学科教授
かわいひろゆき	デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
荒木優子	デザイン学部ビジュアルデザイン学科准教授
谷口文保	先端芸術学部造形表現学科講師
久本直子	デザイン学部ビジュアルデザイン学科助教
柘伸江	芸術工学研究所研究員

## 委託者

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

## 研究概要

神戸ふれあい工房 10 周年を記念し、障害者施設等と大学との連携による「売れる商品づくり」を支援するとともに、神戸市での先駆的取り組みである「神戸市福祉起業家経営塾」（平成 19 年度実施）や「神戸スイーツ・コンソーシアム」（平成 20 年度実施）等における成果等も紹介し、併せてこれらの展示販売も行う。

この「ものづくりメッセ」の開催により、ふれあい工房を広く市民等に PR しイメージアップを図り、障害者の工賃アップにつなげていく。

1. 対象施設の既存商品改良へのアドバイス
2. 対象施設への訪問または芸工大でのアドバイス
3. 「ものづくりメッセ」発表に向けてのアドバイス

## 研究成果

1. 対象施設の既存商品改良のデザイン提案
2. 対象施設への訪問または芸工大でのアドバイス
3. 「ものづくりメッセ」での展示ブース設営、試作品とパネルの発表

### <まとめ>

各小規模作業所では、日々、経営者や関係者、ボランティアの努力により、自主製品の制作を行っているが、市場で一般製品と対等に販売していこうと思えば、製品の質の向上はもとより、適切な顧客（ターゲット）の設定や、適切な売場・販路（マーケット）の設定、さらに、事業計画を含めて見直していく必要がある。関係者だけでできることにも限界があるため、公的なコーディネート組織による支援が必要である。



写真1 御影倶楽部 メッセージカード



写真2 光の村産学園・スマイルショップ花 木のおもちゃとコースター



写真3 鶴美服装作業所 ひな祭りの置物



写真4 ものづくりメッセ展示風景